写真提供:アンジェラ・ロ(ウェスレヤン大学)

岡山ホームステイ旅行特集

写真提供:カルム・ガルト(ミシガン大学)

オーステン・サムカンゲ(スタンフォード大学)

三日間、岡山県の浅口という町に行きました。瀬良田さん御家族の家にお世話になりました。お父さんは、引退する前に、地域の教育長でした。だから、皆から「先生」と呼ばれていました。色々な楽しいことをしましたが、一番面白かったのは神輿を担いだことです。

土曜日の夜、浅口に泊まっていたKCJSの男子学生は秋祭りで神輿を担ぎました。初めての祭りでした。神輿を担ぐために、羽織という特別なジャケットを着ました。祭りの間、神輿をゆらさなければいけませんでした。だから、祭りの前に、皆はビールや酒を飲んで、ほろ酔いになりました。残念ですが、女性は神輿を担ぐことが許されていません。だから、KCJSの女子学生は、写真を取ったり、色々な祭りの食べ物を食べたりできました。

その町の神社の前で、私達は神輿を担いだり、祭りの歌を歌ったり、祭りの踊りを踊ったりしました。神輿を担いでいた日本人は小さい休みの間に、ビールや酒を飲んだから、とても酔っていました。特に私の近くにいた一人はたくさん小さい休みを取りました。彼の友達がどうして休んでいるのか聞いた時、彼は「疲れたからだよ。外人にさせればいいよ！」と言いました。

その人が神輿を担がない間、神輿がとても重くなりました。結果として、皆はもっと力を使って、早く疲れました。それで、私はちょっとイライラしました。神輿を担ぎ終わった後で、汗をかいていたし、肩が痛いし、疲れていました。でも、お母さんは色々な食べ物を買ってくれました。私は焼きそばとたい焼きとイチゴアイスを食べました。

それから、瀬良田さんの家に戻って、お母さんの作ったおにぎりも食べました。でも、疲れていたから、シャワーを浴びて、早く寝ました。

岡山旅行の間、色々な経験をしました。小学生の剣道部を見たり、茶道と琴をしたりしました。でも、秋祭りで神輿を担いだことが一番大切な思い出になりました。

ブレンダン・スウィーニー(ボストン大学)

私は岡山で徳永峰子さんというご家族にお世話になりました。峰子さんのご家族は六歳の子供のいっせいくんとおじいさんとおばあさんがいます。色々と楽しい思い出がありますが今日は土曜日に、空手に行ったことについて書きたいと思います。

KCJS のバンさんのホストファミリーのお父さんは空手の先生です。私はバンさんとアストリッドさんとアレックスさんとサムカンゲさんと一緒に練習しました。空手を練習するために、空手着を着ました。岡山のホストファミリーのお母さんは私に空手着をくれました。とてもやさしい人です。

空手着を着た後で、空手の練習を始めました。空手の先生

岡山ホームステイ旅行特集(続)

は私たちに空手の型を教えてくれました。空手を練習する所にたくさん上手な小さい子供がいました。その子供たちはたくさん練習したに違いありません。柔道と空手は違うから、私は上手じゃありませんでした。でも、黒帯の子供が私に型を教えてくれたから、楽しかったです。

ホストファミリーのお母さんはやさしい人で、私のカメラでたくさん写真を撮ってくれました。岡山のみなさんはやさしい人だったからこそ、楽しい旅行がありえました。とてもかんしゃしています。

ジョ・ホルヘ(ボストン大学)

岡山に旅行する前に僕はお母さんに「行きたくない」と言いました。たくさん宿題があったし、火曜日に美術の試験があったし、実は二日間寝たかったし、本当行きたくなかったです。でも岡山のホストファミリーに会ってびっくりしました。二人の息子さんと一人の娘さんと一匹の犬と二匹の猫がいました。すごく大家族で僕は胸の中で僕のアメリカの家族のような気持ちになりました。友愛という娘さんは19歳でタクという息子は18歳でタケヒデという息子は13歳です。みんなゲームやアニメやマンガが好きですから友達になりやすかったです。一番思い出に残ったことは、この三人と友達になったことです。

新しい人と知り合うのは英語でも難しいですが日本語では無理だと思っていました。でも、この岡山の家族とはすぐ仲良くなりました。初日、ホストファミリーと一緒に僕の一番好きなテレビゲームをしました。僕の一番好きなゲームは英語では「Super Smash Bros. Melee」ですが日本語では「大乱闘スマッシュブラザーズ DX」です。スマッシュは色々な任天堂ゲームのキャラクターが戦うゲームです。その時はともえとタケヒデは友達になったのにタクとはあまり話せませんでした。土曜日も宮島の旅行から帰った後で同じゲームをしました。このゲームでホストファミリーの中ではタクが一番上手ですが僕がいつも勝ちました。それでライバルになりました。最初はタクとの勝負は勝ちやすかったです。僕が負けることはないと思いました。しかし宮島に行っている間、タクさんは勝つために練習しましたからどんどん強くなりました。一回の勝負は十五分ぐらいかかって本当に大変でした。この夜タクと友達になれてよかったです。

あの週末はたくさんのことを習いました。一番大事なのは日本語が下手でもいい関係を作れるということです。同じ興味があれば誰でも友達になれます。行く前は行きたくなかったですが、今は行ってよかったです。

メリック・ウィリアムス(サラ・ローレンス大学)

私は、岡山で、とてもやさしいご家族の家にお世話になりました。おもにホストファミリーのお母さんとひかるというお兄さんといろいろな場所に行きました。たくさんすごく楽しい思い出がありますが、今日は、ひかるとおまつりに行った時のことについて書きたいと思います。

土曜日の五時半に、私のお母さんは私とひかるをせまい道に連れて行きました。この道には大きなおみこしがありました。ほかの KCJS の留学生とたくさんの日本人も来ました。みなさんはとくべつな服を着て待ちました。三人の日本人の子供も着いて、おみこしの中に入りました。

ビールを飲みながら待った後で、六時半ごろ、みんなの男の人はおみこしを上げました。ひかるは上げなくてもよかったから、運がよかったです。おみこしはとても重くて、大きかったです。しかし、みんなと一緒に上げられました。

おみこしを上げてから、近くのほか場所までかついで行きました。そこで、私たちのおみこしは二つのほかのおみこしに会って、もっと待ちました。ついに、三つのおみこしが一緒に神社に行きました。神社の前で、たくさんおみこしを上げては下げ上げては下げしました。すごくむずかしかったですよ。

三十分後、おみこしは終わりました。おみこしを下げて、もっとビールを飲みました。その時、ひかるは私を見つけました。一緒に日本語で話しながらおまつりを歩きました。おまつりを歩いて、日本語で話しました。牛タンを食べてから、クレープを買って、食べました。

ひかると話している時、ありがたくて、幸せになりました。その時、私は「私のアメリカの家族の中で、だれも今日私がしたことをしたことがない」と考えて、かんどうしたんです。

アメリカの家族はだれも日本に来たことがありません。だれもおまつりでおみこしを上げたことがありません。私が初めてです。私はとても運がよかったことにかんしゃしました。そして、全部してみることの大切さをさいにんしきしました。

マルサ・レビツキー(サラ・ローレンス大学)

岡山の修学旅行の時は面白くて楽しいことをしました。私のお母さんはとても優しい人でした。土曜日にお母さんとお母さんの友達と私は着物を着て倉敷に行きました。倉敷はとても有名な観光地です。倉敷にたくさん色々な店と喫茶店とレストランがあります。

お母さんの友達は 私に着物を着せてくれました。着物を着る前に髪を結いました。私の着物は青と、黒と、赤でとてもきれいだと思いました。お母さんは「着物を着ている間に小さいステップで歩いた方がいいです」と言いました。着物を着ている時大きなステップで歩きにくくてれいきが悪いからです。

くらしきにいる間にくらしきの小さい川で小さい船に乗りました。船からくらしきの建物が見えました。とてもきれいでした!船に乗ると日本人は私の写真を取りました!私が着物着たアメリカ人だから面白いと思ったと思います。私は有名な人みたいでした!

船に乗った後でくらしきの町を出ました。この日私たちは喫茶店でコーヒーを飲んだり、きれいな着物を着たり、おいしい食べ物を食べたり、船に乗ったりしてとても楽しかったです! そして有名人になったみたいに感じておもしろかったです。

土曜日は初めて着物を着ました。それはとてもとくしゅな経験でした。日本だからこそできた経験でした。岡山の経験はとても楽しかったです。着物が大好きになりました。岡山のホストファミリーが着物を着せてくれて幸せでした。

アンビカ・シン(ペンシルバニア大学)

私は、岡山で石井さんというお宅にお世話になりました。色々と楽しい思い出がありますが、今日は温泉について書きたいと思います。私の一番の思い出はホストファミリーと温泉に行ったことです。土曜日にホストファミリーと一時間ぐらい車でドライブしました。

私たちが休憩所に着くと、きれいな山が見えました。三十分後温泉に着きました。温泉は山の中にありました。とてもきれいな

岡山ホームステイ旅行特集(続)

ところでした。私たちはビルに入って、靴を脱いで、スリッパをはきました。そして、女湯に入りました。服を脱いだ後で、タオルを持ってお風呂場に入りました。そこでは、まずシャワーをあびた方がいいから、シャワーをあびました。シャワーの後で、お風呂に入りました。一つ目のお風呂の水はとても暑かったから、短い時間いました。そして、このお風呂を出て、暖かいお風呂に入りました。お風呂からとてもきれいな山が見えました。外で、人がつりをしたり、リラックスしたり、遊んだりしているのも見えました。みんなとても楽しそうに見えました。写真を取りたかったですが、カメラがありませんでした。しばらくして、ゆっくりした後でお風呂を出ました。

服を着た後で、温泉にあるレストランに行きました。ここで魚や野菜や果物を食べました。その日のメニューで私の一番好きな食べ物はデザートでした。デザートはなしのアイスでした。このレストランの料理はとてもおいしかったです。でも、せっかくレストランに行ったので、ホストファミリーが私に全部の種類の魚を食べさせました。いろいろなさかながあっておもしろかったですが、あまりおいしくなかったです。

昼ご飯の後で、温泉を出ました。車で一時間半ぐらい で家に着きました。私のこれまでの人生で温泉に行った日が一番おもしろかったです。皆さんもぜひ機会があったら、温泉に行って見てください。

ヴァン・ディン(ペンシルバニア大学)

私は岡山で松若さんというお宅にお世話になりました。色々と楽しい思い出がありますが、今日は、空手について書きたいと思います。

土曜日は、ことを弾いた後、家に帰ると、ホストファミリーのお母さんが私に空手着を着させました。ホストファミリーの妹さんも空手着を着ました。彼女は二段です。すごいなあと思って、ちょっと羨ましくなりました。空手着のままで、家を出ました。

家の近くの小学校の体育館に入ると、黒帯の子供がいました。とてもびっくりしました。もちろん黒帯がない子供もいましたが、自分が空手を知らない外人だったから、恥ずかしかったです。実は空手の先生は私のホストファミリーのお父さんでした。ホストファミリーのお父さんが空手の先生だからこそ、もっと不安になりました。空手を上手にしたいと思いました。

空手のおけいこは3時に始まりました。最初は3人の留学生しかいませんでしたが、だんだんほかの留学生も来ました。先生がゆっくり教えてくださったのに、全部覚えていることができませんでした。だからいつもとなりの黒帯の男の子を見ていました。彼はとても上手でしたが、私はぜんぜん上手ではありませんでした。1時間半後に、空手のおけいこが終わりました。みんなが集まって、写真を撮りました。

空手は難しいですが、楽しかったです。みなさんもぜひ機会があったら、空手をしてみてください。

カーラ・モリワキ(マカレスター大学)

私は岡山で安原さんというお宅にお世話になりました。色々と楽しい思い出がありますが、今日は、日曜日の朝、岡山のビーチに行ったことについて書きたいと思います。

安原さんのご家族と一緒にビーチに着いた後アーロン・ブラニウングさんとブラウニングさんのホスト・ファミリーに会いました。まず、海の前で、あきこさんという30歳の安原さんの娘さんのカメラでみなさんと一緒にたくさん写真をとりました。そして、まだ安原のお父さんとだけ一緒に写真をとっていなかったから、ビーチでとりました。

あきこさんは子供の時家族とよくこのビーチに行ったものだと話してくれました。その朝たくさん若い両親と若い子供を見ました。私たちは子供が魚を釣るのを見ていました。とてもかわいかったからたくさん写真をとりました。それから14歳ぐらいの男の子がたこを釣ったのも見ました。

岡山のビーチはハワイのビーチみたいですがたくさん違いがあります。例えば、いい天気だったのに、誰も海で泳ぎませんでした。あきこさんは私に夏の時にはみんな泳ぎますが、夏の後にはみんなは釣りをすると教えてくれました。それに、砂の上を歩く時誰も靴を脱ぎませんでした。みんなは靴を履いたまま砂の上を歩きました。私だけはだしで歩きました。なみこさんという27歳の安原さんのむすめさんとあきこさんが靴を脱がないで足だけ水の中に入れたのでとてもびっくりしました。

最後にビーチに行ったのは一ヶ月前でしたから、ひさしぶりでした。緑の山、ヤシ、貝殻、波の音のおかげでハワイを懐かしみました。ビーチでの習慣には違いがありましたが、岡山のビーチもハワイのビーチのようにとてもきれいでのどかでした。それに安全だから、家族のためにとてもいいです。安原さんのご家族が私をビーチに連れって行ってくださってよかったです。

みなさんもぜひ機会があったら、岡山のビーチに行ってみてください。

マイケル・リー(ボストン大学)

私は岡山で小寺さんというお宅にお世話になりました。たくさん楽しい思い出がありますが、今日は倉敷アイビースクエアについて書きます。

倉敷アイビースクエアは古い所ですがたくさん面白そうな店があります。たとえば、あかつきジーンズという有名な店があります。桃太郎は岡山の話なので色々な黍団子屋もあります。更に、ろうそく屋もあります。その店で動物みたいなろうそくを売っていました。

倉敷アイビースクエアには大きい川もあります。私のホストファミリーがそこで結婚式があると教えてくれましたが、人気の結婚式の場所とされているそうです。

その話をしていると、川を船に乗った新婚さんが流れてきました。めずらしいからたくさんの人が写真を撮りました。その新婚さんは人気者でした。

また、そこにある大原美術館は有名な場所ですが行こうとするともう閉まっていました。残念でした。

他にもたくさん店があるのに、川の前でも人が色々な物を売っていました。そこに指輪を売る有名な人がいました。私が指輪をほしいと言ったら私のホストファミリーが買ってくれました。その銀の指輪を試験の時つけたらいいせいせきが取れるそうです。だから、次の試験こそいいせいせきを取れるでしょう。

それから、その人は占い師なので私の将来について教えてくれました。「あなたは九十才まで元気でいます。そして、あなたは頭がいいみたいです。」と言いました。本当かどうか分かりませんが、本当だといいと思います。

倉敷アイビースクエアはとても楽しかったです。みなさんも機会があったら、ぜひ行ってみて下さい。

写真提供:リンゼー・四倉(KCJS)

写真提供:リンゼー・四倉(KCJS)

写真提供:クリスティーナ・バスーブ(ミシガン大学)

写真提供:リンゼー・四倉(KCJS)

日本の食べ物

写真提供:ロスリン・リー(アーモスト大学)

ヘンリー・マンテル(ブランダイス大学)

日本の生活とアメリカの生活はとても違う。ぼくは食生活が一番違うと思う。ぼくは日本の食べ物が大好きだけど、時々日本の食べ物は少し淡白だ。たいてい、アメリカの食べ物の味が濃くて、日本の食べ物の方が薄い。ぼくは焼いた食べ物が大好きだけど、日本では人気がない。アメリカのステーキはとてもおいしくて、人気があるけど、日本でおいしいステーキが見つけにくい。そして、日本で厚い肉はとても高い。

日本の食べ物はたいていたくさん塩が入っている。ラーメンとうどんとカレーはたくさん塩が入っていて、その食べ物は一番人気がある。というのは、ラーメンとうどんとカレーは作りやすくて、安くて、おいしいからだ。ホストファミリーのお母さんはたいてい忙しいから、ラーメンを作るために、時間がない。そして、ぼくはたくさんお金がないから、いつも昼ご飯に安い食べ物を買う。

ところが、ぼくは日本の食べ物も大好きだ。時々ぼくはレストランに行って、とても高い食べ物を注文する。レストランはたいていおいしい食べ物がある。でも、日本では外国の食べ物は時々おいしくない。アメリカにはたくさん外国人がいるから、いろいろなおいしい食べ物がある。でも、ぼくは日本にいるために、日本の文化と生活を経験したい。

写真提供:クリスティーナ・バターブ(ミシガン大学)

サンディー・リー(ウエスレヤン大学)

今週の水曜日、私は4時ごろにお腹がすいていたから、近くのセブンイレブンに行って、安いカップラーメンを買いたかったです。でも、セブンイレブンのカップラーメンは全部高くて、平均は 200 円です。アメリカでカップラーメンは多分1ドルぐらいです。そして、大きいスーパーでカップラーメンを買ったら、たった 20 セントです。日本がカップラーメンを発明したでしょう? でも一番安いわけではありません。その日、私はカップラーメンを買わなかったです。

今、この問題を考えてみると、アメリカで売っているカップラーメンはアメリカで作りましたから、安いかもしれません。アメリカには小麦がたくさんあるから、麺の価格は高くない一方、日本はよくアメリカから小麦を輸入するから、日本では小麦の価格は高くなるかもしれません。それから、アメリカのカップラーメンには野菜と肉もあまりないから、材料も安いです。私が日本のカップラーメンを食べた時、一番驚いた点は野菜と肉の比率が小さくないということでした。

でも、カップラーメン以外にもたくさんのものが高いです。例えば、お茶をはじめ、飲み物は高いです。自動販売機と同志社大学の生協でもたいてい飲み物は 140 円ぐらいだから、アメリカの 2 ドルになります。なぜお茶はこんなに高いですか。アメリカのお茶はすごく安いです。2 ドルだったら、アメリカでジュースも変えます。でも、日本ではお茶は高い一方、ジュースは安いです。同志社の生協のジュースは約 100 円です。ジュースとお茶の違う点は、容器かなと思います。お茶はいつもプラスチックボトルに入っていて、ジュースは紙パックに入っています。でも、紙パックも高いかもしれません。アメリカでよく紙パックをリサイクルしますけれど、日本ではリサイクルしないようです。紙類のごみはたいてい焼却処分します。私にとって飲み物の価格を理解するのは無理で、分からないんです。考えれば考えるほど混乱します。

石田衣良的、「旅する本」的物語

(「旅する本」:悩みや問題がある登場人物が、一冊の本と出会ってよい方向に変わっていく物語。講談社文庫『てのひらの迷路』に収録。)

アレックス・ブリーデン(バージニア大学)

ある日、背中を丸めて手をひきずっているさるが、見捨てられた近所の道を歩いていた。突然、さるは立ち止まって空を見た。もう夕暮れになってしまった。どうしよう。外にはひとりとして人がいなかった。

さるは空家に泊まることにした。家を選んだ後、ドアまで歩いて行って、開けた。中は真っ暗なのに、さるは迷わないで入った。電気のスイッチを探しながら、何かにつまづいて転んだ。でも、転んでいる間、糸をつかんで引いた。実は糸が電気につながっていたので、さるが頭を上げた時、部屋がはっきり見えた。そして、さるの前の床に赤と黒の本が置いてあった。

もちろん、たいていさるは本が読めないけど、こちらは特別なさるだった。サーカスで育ったので、サーカスに勤めている人に本をどう読むか教えてもらった。それがさるは大好きだった。何よりも学習が大好きだった。でも、最近さるの主はだんだん無情になっていた。毎晩酔っぱらうようになってから、さるを何度も打ってしまった。そして、いつもその時にさるは泣きだした。そのせいで、結局さるは自分に「もういいよ」と言ってから、逃げようと思った。だから、今さるは全くひとりぼっちだった。

(え? 表紙にサーカスの主の服をきているさるの絵がある)

さるは素早く飛び起きて、本を手にした。一瞬表紙を見た後、さるは本を読み始めた。

それはサーカスに勤めて落ち込んでいるさるの物語だった。さるの主はいつもさるに新しくて危ない芸をさせていたから、一週間に一回以上、さるはけがをした。最後に、ある日さるは主が寝ている間に主の部屋に入って服とむちを盗んだ。起きてむちと服が盗まれたことに気がついた時、主は怒りだした。そして、サーカス地を走り始めたけど、すぐにさるを見つけた。主が彼のむちと服を要求した時、さるは笑ってむちで主を打った。何度も打たれた後、主はサーカスから逃げて帰ることはなかった。

その物語を読んで、さるは笑いだした。実際にちょっと主に共感したけど、物語に出ているさるが大好きだった。さるは本を持ちながら、キッチンに入って鉄のなべなを頭に置いたり、めん棒を手にしたりした。そして、胸を張って家を出た。

人生航路

私は米国の大学で政治学と国際関係を専攻している四年生です。現在、日本に留学中ですが、帰国後は卒業したいと思っています。四年生ですから。でも、専攻が2つあり、今回の留学で修得する単位は母校の単位には互換出来ないかもしれません。そのこともあり、ちゃんと2013年5月に卒業出来るかどうか分かりません。出来ないとしたら、卒業までもう一学期か一年かかりますが、私は学費を両親に頼っているので、これから不安です。卒業し次第、就職するか大学院（法科大学院）に入るか、どちらの方がいいのか悩んでいます。就職して職歴を積んだ方がいいでしょうか。そうすれば、大学院のためにお金を貯めることが出来ます。両親はすぐ大学院に入学した方がいいと言いますが、私は働かずに勉強することに抵抗を感じています。四年生でもう時間がないので、早く決めたいのですが、中々決められません。どうしたら良いでしょうか。（米国ミシガン州 C 子）

ヒュー・タラ（ブラウン大学）

あなたは二つのことで悩んでいますね。一つは、留学のために今現在受けている授業の単位が母校で認められるかどうかということで、もう一つは、卒業してから、勉強を続けるか就職するか、どちらの方がいいかということですね。ご両親に頼らず独立したいと思う一方で、自分からの判断が正しいかどうか自信がなくて、自分自身が決めるということがなかなか出来なさそうですね。

最初の問題は大学での問題ですね。突き放すような言い方になるかもしれませんが、結局、あなたが卒業できるかどうかは母校の判断でしょう。なので、今の不安に悩まずいい解決方法を探しましょう。もちろん、認めてもらえば問題はないのですが、もらえない場合はバックアッププランをちゃんと準備しないとね。大学で秋学期と春学期に授業を受けること以外、他に単位をもらえる方法はありませんか。夏に休まず授業を受けて、そしてその授業で単位を取得する人がたくさんいると聞いたのですが、いかがでしょうか。他の方法もきっとあると思いますが、バックアッププランをはっきりさせて、単位をもらえるように母校の担当者と交渉してみてください。

次の問題なのですが、手紙からはよく分かりませんけれども、ご両親に迷惑をかけないようにすぐ就職して、後2，3年経ったら、大学院に行くというのがあなたの本音なのではありませんか。ですが、就職してから、だんだん忙しくなってきて、なかなか大学院にいけなくなる人が多いのではないかと思います。二つの専攻を同時に受講する積極的なあなたの場合は、出来るかもしれませんが、戻るのも大変になるのではないかと思うので、勉強を続けたいなら、卒業してすぐ入ったらどうですか。ご両親に迷惑をかけるかもしれませんが、大学院を卒業して就職してからお礼をちゃんと言えますので、ここは焦らないことです。

とはいえ、大学院に行かずに働く人も多いので、就職も間違った選択ではないと思います。ですが、なんと言っても最も重要なのは大学院に行く理由ですね。失礼ですが、あなたは何のために大学院に行きたいのですか。多くの人は、理由をはっきり知らぬまま大学院に入ってしまって、そして大学院を出てから、行かなかったらよかったのにと後悔するきらいがあると思いますが、あなたも同じような状態になってしまえば、今より困りますよね。だから、大切に考えたらいいと思うのは、大学院に行くかどうかということではなくて、その代わりに、どうして大学院に行った方がいいかということです。もしあなたの理由が「大学院で学んだ〇〇を〇〇のような仕事で生かす」というふうに具体的になっていなければ、大学院の必要性について考え直した方がいいと思います。

最後なのですが、どちらかというと、どちらの選択でもいいと思います。ただし、ご両親の未来より、あなたの未来にこそ影響を与える選択なので、自分自身で決めるのが大切です。あとは、あまり悩まないでください。このような難しい問題は、難しいからこそ、逆にまったく間違った選択というものもありませんからね。

ゲイブ・ベッカーマン（タフツ大学）

四年生で、来年は卒業する予定だから、次はどうすればいいか悩んでいますね。それに、留学中で、母校との単位交換制度について心配し、計画していた時に卒業するかどうか疑っていますね。ご両親が言っていることにあまり賛成していませんが、学費を支払ってくれるから反対されると不安なことでしょう。大学を卒業する時、今まで持っていなかった責任を持つようになり、同じようなことで悩んでいる人がたくさんいます。

まず、あなたのオプションをはっきり比べられるようにするため、できるだけ詳しく調べたほうがいいと思います。そうすると、今の心配事を一つずつ考えられるようになります。今受けている授業は母校の単位になるかどうかわからないと言いましたけど、そのことをまず直接母校の留学オフィスのスタッフに聞いてみたらどうですか。もしはっきり教えてくれない場合、同じ留学プログラムで勉強した先輩に聞いたほうがいいのかもしれません。次に、来年の五月に卒業できる可能性がわかったら、後一学期、一年間勉強することになる場合にはどうかご両親と相談してみることです。

ご両親の意見に反対したくない気持ちはわかりますが、学費を払っているので、一番うまくいく道を選んで欲しいのではないでしょうか。卒業したらすぐ大学院に入学しないと、学生の生活から休憩を取り、あまり勉強する気がなくなるかと心配しているのかもしれません。ご両親はなぜできるだけ早く大学院に入学すればいいと思っているのかをもっと深く理解できたら、もうちょっと決めやすくなると思います。

人間は、将来の計画を決める時、幅広過ぎる感覚で考え、逆に心配事が増えてしまい、一番直接で、簡単な道を選ぶきらいがあると思います。学生の生活が終わり、次にどうするかはとても怖いでしょう。私の先輩から聞いた話ですけど、大学を卒業したら、就職できるか心配し、直接に大学院に入学し、卒業したら後悔する危険性があります。一方、最初に大学院に入学するつもりだったが、直接に入学しないで、とても充実している仕事を見つけたこともあります。

将来に後悔する危険性をできるだけ低くするには、心配事を一つずつ考える必要があります。そうすると、ストレスを解消し、もっと悠々とそれぞれの道を比較できるようになるでしょう。時間があまりないから 、早く決めたいと感じていても、注意することが一つあります。それは、あなたの将来を狭過ぎる感覚で決めてしまうことです。今までずっと学校で勉強していますね。ご両親が言ったようにし、一生懸命勉強すると将来にとても幸せになると言われたでしょう。しかし、今、自分の道を選ぶことができます。家族や教授などにアドバイスを受けたらいいですけど、最後に、あなたの将来を決めるのはあなたです。それを忘れずに、将来の道を選んでください。

カルム・ガルト（ミシガン大学）

平日の夕方。僕以外、お客が二人しかいませんでした。店に入ると、ウェイトレスが大声で「まいど、いらっしゃいませ」と優しく迎えてくれました。メニューが簡単で、ラーメンの種類は普通のしょうゆラーメン（小530円、並630円、大730円）とチャーシューメン（並780円、大880円）しかなくて、トッピング（それぞれ80円）はたっぷりメンマ、キムチ、柔らか煮玉子、そしてとろとろ温玉でした。

僕はチャーシューメンととろとろ温玉にしました。さて、すぐ出てきた旨そうなラーメン。ネギ、メンマ、とろとろ温玉と豚肉がのっていて、見た目は普通なチャーシューメンだったけど、意外に旨かったです。メニューに書いてあった通り、豚骨としょうゆを合わせたスープはまろやかな味で、まるで自家製のような懐かしい感じでした。こってりだったけど、油っぽくなく、サラリとしていました。麺は細くてストレートで、量はちょっと少なかったけど、十分でした。

文句は一つしかありません。それは、スープが旨すぎて、速く食べちゃっておなかが痛くなったほどで、しかもいっぱいあったということです。とにかく、ラーメン横綱のチャーシューメンは旨くて、僕のおすすめです。サービスも速くて、ウェトレスも優しいので、高野でラーメン屋を探すなら、ぜひラーメン横綱へ行ってみて下さい。

ラーメン横綱高野店
左京区一乗寺赤ノ宮町　15−4

京都ラーメンレポート

ユエイ・シュー（ペンシルバニア大学）

天下一品は207店舗という全国的展開で、京都のこってりラーメンを提供しています。私は今回京都の総本店に行く機会はありませんでしたが、先週の金曜日に烏丸今出川の店舗に行きました。

お店は今出川通の横町にあり、本当に子細に見なければ見逃しやすい場所でした。友達二人と行きましたが、運良くすぐテーブルが空きました。私は早速メニューに目を通し、名物のこってりラーメン（680円）とチャーシューご飯セット（100円）を注文しました。一緒に来た二人は同じこってりラーメン（680円）と1日30食限定の辛ラーメン（780円）を注文しました。朝早く（11時）に行ったからか知らないですが、限定ラーメンといってもあまり注文されてないようでした。

麺を待っている間に店内を観察してみました。店は伝統的ラーメン屋さんのように30席ぐらいしかなく、外では行列が始まったようでした。お客さんは大学生や建設労働者が多く、隣に中国人のカップルもいました。

天下一品今出川店
上京区室町今出川下る北小路室町 390-1

ラーメンは10分ぐらい後に出てきました。先ずチャーシューご飯を食べ始めました。色は鮮やか（白いご飯、黒いのり、茶色の肉、緑のネギと赤い生姜）で、サイズも思ったより大きかったです。チャーシューは少し塩っぱかったですが、お肉は柔らかくて口の中で溶けるほど油っぽかったです。

次は期待していたこってりラーメン。以前はあっさりラーメンしか食べた事が無くて、初体験でした。すぐにスープの粘着度に気づきました。黄色のスープの上には2−3枚の薄いチャーシュー、ネギとメンマ。他のラーメン屋の様に具をきれいに並べてはなかったですが、皿の中心に載せていました。

このこってりスープを説明するとすれば、「あっさりスープの中に卵を溶かした」ようなトロリとした感触だと思います。味も卵の濃密さがあり、旨味もいっぱい。スープはしっかり麺と絡んで、スープのマイルド味が歯ごたえのある麺によく交わっていまいた。

麺はすこし太めでストレート。量も並で、スープの一部かと間違ってしまうほど重たいです。

チャーシューや他の具も合っていましたが、個人的にはこってりラーメンの場合にはスープと麺のみで十分おいしいと感じます。しかし、今回の薄切りチャーシューとぱりぱりのネギはこの濃いこってりスープといいバランスを取っていました。

全部食べ終わった後に戸口の方向を見ると、外へ続く行列に気づきました。また行きたいですが、12時前に行った方がいいようです。

日米ファッション比較

アーロン・リー（エモリー大学）

日本に来る前に KCJS の Introductory guide で「日本ではアメリカより人々がもっとファッショナブルです」ということを読みました。本当にそうか分かりませんでしたが、それを知って日本に来ました。それほど違うでしょうか？

もう二ヶ月日本に住んでいるから、確かに事実だと思います。まあ、都市によってアメリカもファッショナブルですけど、ほとんど日本人のほうがファッショナブルです。例えば、ニューヨークですごくファッショナブルな人たちを毎日見られます。ニューヨークというのは世界の中で一つのファッションの首都ですから、もちろんあそこでファッションは大事です。

でも、普通の大学生を比べたら、日本の学生のほうがすごくファッショナブルです。アメリカ人の大学生はたくさん普通のシャツとジーンズを着ます。女の子でも、男の子でも、どっちでもそういう普通の姿をアメリカの大学でよく見られます。シャツとジーンズを着るのがすごく便利ですから、たぶんそのせいでファッショナブルじゃないんです。

日本人の大学生はいつもモデルみたいな服を着るようです。特に女の子たちの中で、いつもかわいいスカートとか、ファッショナブルなブーツとか、すごくファンシーなジャケットとか、いろんな服を着るようです。男の子も、ほとんど同じですよね。日本に来た時から、学生を見ると何とか分かる気がしました：日本人は姿を大切にします。

写真提供：アンジェラ・ロ（ウエスレヤン大学）

写真提供：カルム・ガルト（ミシガン大学）

写真提供：ロスリン・リー（アーモスト大学）

写真提供：カルム・ガルト（ミシガン大学）

写真提供：カルム・ガルト（ミシガン大学）

写真提供：クリスティーナ・バヌーブ（ミシガン大学）